

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	消防団設備事業			
予算科目	9 款 1 項 2 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 消防・防災・安全の確保			
所管課情報	担当課: 危機管理課		電話番号(内線): 982-0119	
記入者情報	所属長: 泉 仁		担当責任者: 岡田 孝弘	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	一般市民			
根拠法令等	消防組織法			
事業の目的	消防団装備品、消防車両等の整備及び維持管理。			
事業の内容	消防車両等の車検、法定点検、修繕等及び消防団装備品の整備。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	10箇年度整備計画に基づき、更新消防車両等の整備を進めていき、消防力の現状維持を図る。			
改善策の 具体的 取り組み	消防装備の改善充実を図ることは、災害発生時に対する防災力と考えるが、これらにかかる事業費を少しでも軽減を図るため、国の補助金制度を活用する。消防団無償貸付車両事業により救助資機材搭載型小型動力ポンプを申請。			

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	21,379	24,353	5,070	20,348
	人件費	11,389	1,272	636	1,272
	合計	0	25,625	5,706	21,620
人件費 内訳	人工数	1.40	0.16	0.08	0.16
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	11,389	1,272	636	1,272
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	32,768	25,625	5,706	21,620

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
ポンプ車等の車検	台	19	25	8	25
ポンプ車等の修理見込み	台	19	89	17	89
ポンプ車等の更新	台	4	2	0	2

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	40,100	20,100	23,600	25,000	25,000	133,800

成果指標				
成果指標	(実績)執行済額/消防団設備費予算額×100(目標)消防団設備費予算額=執行済額			
指標設定の考え方	緊急出動時など、日常の防災力の充実化を図るものであり、消防団配備車両等の整備を適正に行うための必要経費を計上し、適正な執行を測定する。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	23144	24353	40100	0
実績	21379	20348	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	5	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	消防団設備事業として積載車や小型動力ポンプなどを整備していくことは、当市における防災力そのものであり、有事の災害に備え、整備計画に基づいて配備を進めていくことが肝要である。しかし、装備品価格の高騰、コスト削減などを提案し、今後も必要に応じ整備計画の見直しを行う必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	5	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	消防団を中核とした地域防災力の充実強化に向けて、整備計画に基づき積載車や小型動力ポンプ等の更新を行うとともに維持管理に努め、火災や災害等に備えた体制の充実を図る必要がある。なお、配備車両等の購入費用及び維持管理費等を提案し、必要に応じて整備計画の見直しを図る必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題